

大原野歴史同好会通信 (32)

大原野歴史同好会の思い出

齋藤 利一郎

歴史同好会も私を初めとして年齢が高く、新型コロナウイルスが怖く、必要以外は外出を控えている為活動を休止しています。世の中はGOTOキャンペーン等で人は外出することが多くなり...

また、長年歴史同好会の会長として運営を支えて頂き「大原野だより」の原稿を執筆頂いた安井庄次氏が9月にご逝去されました。ご冥福をお祈りいたします。

今回は歴史同好会の思い出として10年誌の発行について書こうと思いましたが、歴史同好会は平成15年に発足しました。延べ90回の大原野地域についての勉強会を行い遺跡・お寺などを回りました。当初は南・北春日町中心の活動で会の名称も「春日町歴史同好会」としましたが、会員獲得の為に「大原野だより」に活動報告を掲載させてもらいますと、少しづつ会の認知を頂き、会員数も増加して...



校正は重要なこととなるので、これを武唾氏にお願いし立派に完成致しました。次は冊子の活用ですが、会員の方に購入頂き、地域の小・中・高校・図書館・国会図書館へ寄贈致しました。大原野神社での販売もお願い致しました。初版200冊・追加200冊で、今考ええると楽しい思い出になりました。

丁度10周年を迎えるに当たり何か歴史同好会の痕跡を残したいと思い、10周年記念誌「郷愁の大原野」の発行をすることと致しました。丁度「大原野だより」掲載文が20回ありましたので、記念誌を作る中心ができ、追加として会員の随想を掲載することにより立派な冊子になりました。冊子のをつけること。特に西京老人会では、いきいき体操、市内各地でのウォーキング、低い山に登ろう会等、健康増進のための各種イベントをご案内しております。自分に合ったイベント情報を見つけてください。残念ながら大原野地区からの参加はまだ少数なのが現状です。自分の健康管理意識を高めることで病の早期発見に努めては如何でしょうか。早期に見れば現代医学で回復の可能性も高まります。

今回は10周年記念誌の思い出として、再度掲載致しましたが間もなく20周年が近づいてきます。次の行事を考え、20周年に向けて大原野歴史同好会の飛躍を考えなければならぬと思います。発足当時より活動を共に進めてきた会員が亡くなるのは寂しい思いです。今後、歴史同好会を進めるにも会員の増強以外に道はありません。まだまだ大原野地域には歴史が埋もれています。地域の皆様にお願ひして歴史の発掘を行いたいと思ひますのでよろしくお願ひ致します。

コロナに負けるな!!

大原野老人クラブ連合会(悠愛会)会長 畑 勲

今年度は悠愛会の活動もコロナ自粛の関係で各種イベントもやむなく中止させて頂いております。オリンピックの熱気で沸き立つはずだった暑い夏もコロナ騒ぎで、すっかり世間は様変わりしてしまいました。いまだに収束する予測すら立たない現状は、私たちが今までに体験したことのない社会変化が続いています。特に高齢者、その中でも持病のある人は、重篤

になる危険性が高いと報じられています。高齢者で持病(糖尿病、高血圧等)を持たない人は皆無と思われまます。これを良い機会と捉えて地域の皆様に、自身の健康管理意識の向上に繋げて頂きたいと考えています。面倒ですが、定期的に健康診断を受けること、毎日体温と体重測定を継続実施して体の変化、異常を察知できるようにすること。意識して体を動かす習慣

消防団だより

大原野消防分団 上里支部長 西田茂樹

新年明けましておめでとうございます。皆様には消防団活動に日頃から温かいご支援とご協力を頂き誠にありがとうございます。新型コロナウイルスの影響により、多くの人が集まる会合や、楽しみにされていたイベントの延期・中止など、今までは違った生活様式に戸惑う日々に変なご苦労をされておられる方も多いと思います。

新型コロナウイルスの影響により、多くの人が集まる会合や、楽しみにされていたイベントの延期・中止など、今までは違った生活様式に戸惑う日々に変なご苦労をされておられる方も多いと思います。

最後に新規加入者は熱烈歓迎いたしますと共に老人会活動への皆様の参加とご協力をよろしくお願ひ致します。

近年は台風や地震による水害被害・土砂災害などが全国各地で毎年のように発生する時代となつてしまいました。災害によって私たちの尊い命や財産が奪われないようにするには「私たちの身に起きる」という前提のもと常に準備を怠らないことが大事です。そして火災などの人的災害を起さないように予防に努める

支えあう

住みよい大原野、地域から

大原野民生児童委員協議会長 小原節子



大原野民生委員・児童委員

謹んで新年のお慶びを申し上げます。平素は民生児童委員活動にご理解とご協力をいただき有難うございます。

大原野民生児童委員協議会は、17名の民生委員児童委員と7名の老人福祉員で構成されております。昨年来のコロナ禍にあつて、私達の活動も制限を余儀なくされていますが、日頃から築いてまいりました地域の皆様とのつながりが途切れないように、色々工夫し、配慮しながら見守り活動等を行ってまいりました。その中で、昨年の11月から12月にかけて、私たち17名の民生委員児童委員が大原野地

域の3700全世帯の皆様には、私達の活動をより理解し知って頂く為に、各町担当の民生委員児童委員が顔の見える民生委員を目指しながら一軒ずつ広報チラシを配布致しました。これにより、地域の皆様に、より身近な相談相手と感じていただける事と思っております。どうぞお気軽にお声掛け下さい。

年間を通じて、様々な訓練に参加してはいますが新型コロナウイルスの影響により中止・自粛となつてしまいました。しかし、このような非常事態の中でも、災害活動は無くなることはありません。近年は台風や地震による水害被害・土砂災害などが全国各地で毎年のように発生する時代となつてしまいました。災害によって私たちの尊い命や財産が奪われないようにするには「私たちの身に起きる」という前提のもと常に準備を怠らないことが大事です。そして火災などの人的災害を起さないように予防に努める

こと、さらに災害が起きても被害を最小限に止めることが重要です。そのためには、一人一人の備えはもちろん各家庭として地域の助け合いが不可欠です。私たち消防団は「自分たちのまちは自分たちで守る」という使命感のもと皆様の力になれるように活動していきたく思います。

「ご協力ありがとうございました」
日赤社資増強運動 (令和2年度) 合計 561,650円
共同募金 (令和2年度) 合計 542,000円

《天ぶら油回収》
月～金 A.M.9:30～P.M.4:00
大原野総合自治会館
一持参した容器は必ず持って帰って下さい

《アルミ缶プルトップ回収》
月～金 A.M.9:30～P.M.4:00
大原野総合自治会館
プルトップをあつめて車椅子をもらいましょう!ご協力お願いします。
一車椅子を貸出しています

困難な状況下での行事

大原野中学校 校長 中島 一郎

学校には、主体的な生徒の活動を培う行事が数多くあります。しかしながら、今年は感染症拡大防止のため、6月から通常の学校活動が始まり、いくつもの行事が開催できなくなりました。

文化祭・体育祭については、学校の裁量で行わないもしくは内容を変更して行うという判断に迫られました。

大原野中学校では、文化祭・合唱コンクールは形を変えてでも開催することとしました。舞台発表は三密を避けるため、入れ替え制とし、昨年並みのものをつくり上げることができました。展示発表では、対面する参加型の展示を自粛し、教科委員会の展示に限ったもの



のようになりました。どれもが例年と大きく変更された内容になりましたが、生徒たちの行事に向けた姿勢はとて主体的なものでした。

体育祭は恒例の応援団の活躍する部分が大きく削られて、代表が青団赤団合同でダンスを披露しました。競技は参加人数

を調整して工夫したものをを行いました。規模を縮小したとはいえ、十分見ごたえのある内容になり、参観された方々からも好評でした。

修学旅行は当初6月はじめに予定されていま

し、しかし、先の状況により学校活動はストップし、修学旅行を中止することも考えましたが、感染症拡大防止の取り組みをしっかりとすることで、新たな方面に向かって準備をすすめ、10月27日から南信州に行くことができました。

皆様のおかげをもちまして、逆境にも負けない大原野の子どもの姿が見られた貴重な時をありがとうございました。ご報告いたします。

今後とも保護者・地域の皆様のご理解とご支援をお願いいたします。

中でも、いつも以上に地域の皆様方にお世話になりました。

「里」に学ぶ

上里小学校 教頭 渡邊 壽男

新しい年の始まりを迎え、地域の皆様方にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は本校教育の推進に深くご理解ご支援頂き、心より御礼申し上げます。ありがとうございます。

本校の学校教育目標の中に「里に学ぶ」がありますが、その土地で暮ら

し、大地を耕し、仕事や生活で繋がりが合っている「里」には、子ども達が学ぶことがいっぱいあります。

さて、昨年はコロナ禍の中、たくさんの方の行事や学習が中止・規模縮小となりました。子ども達の学ぶ機会が少なくなり、残念に思います。そんな

「当たり前」は「ありがたい」ということ

大原野小学校 教頭 加地 知子

地域の皆様には、健康やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素は本校教育の推進にご理解ご支援を頂き心より御礼申し上げます。

「ありがたい」とは「有り難い」「有る」という意味だということです。昨年度末から私達は、これまで経験したことのない生活を送ることとなり、これまでの「当たり前」の「ありがたい」を一層感じることとなりました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による一斉休校。子ども達のない学校…。これまで学校

いるサツマイモの苗を学校で植え、三年生が学習で掘りました。大きいお伊モがたくさん採れ、大喜びでした。その後、脱穀の時のわらを使って、焼き芋を体験しました。まさに一つ一つの学習が結び付いて、「里に学ぶ」



で友達や他学年の児童同士、教職員と当たり前のように話し、遊び、学んでいた子ども達は、自宅で過ごすことになりました。子ども達と毎日過ごす。子ども達と毎日過ごす。子ども達と毎日過ごす。

大原野小学校は「つながり」を大切に、よりよく生きていく力を育む取組を進めています。学年の児童同士のつながりはもちろんのこと、異学年の児童ともつながる「つながりグループ」での取組、人権について考える

が私たち作られていると思えます。昨年もおくさんの地域の皆様にお世話になりました。ありがとうございます。改めて感謝申し上げます。今年こそは、いろいろな行事ができ、また、たくさんのお世話になりますようにと厚かましくも願っています。今年もよろしく願います。

「つながりの日」の取組。運動会での、他学年や地域の皆さんとつながる「つながり種目」。地域の方や保護者の皆さんに支えていただきながら実施する「交通安全教室」や「米作り体験」「町探検」…。子ども達にとって、どれも貴重な体験であり地域の温かさを感じられる大切な機会です。



今年度は、地域の方との取組や体験学習等、例年通りに行うことができないものも多くなり、残念な思いも「つながり」を感じられるように工夫しながら、同時に感染症防止対策をしながら活動を進めています。また、感染症が差別につながることをないよう、人の気持ちを思いやり支え合う大切さについて、子ども達と共に考えています。

これからも子ども達が、「つながる大切さ」「つながるありがたさ」を感じながら、よりよく生きていこうとする力を培っていきけるよう、教職員一同一丸となって取り組んでまいります。本年も、どうぞよろしく願います。

のびゆく園児たち

上里竹の子こども園
新型コロナウイルス感染防止に工夫を重ねたいつもと違う運動会。子どもたちは力一杯頑張り、楽しい思い出を作りました。



大原野幼稚園



10月11日(日)運動会を2部に分けて開催しました。欠席者なく、園児たちは十二分に力を発揮し、無事終えることができ、本当によかったです。

大原野こども園

今日はみんなで育てたさつまいもの収穫日。暑い中、毎日交代で水やりをしてきました。どんなさつまいもができたのかドキドキしたよ。



体振だより

令和2年度西京区女子バレーボール大会 準優勝

謹んで新春のお慶びを申し上げます。大原野地域の皆様には、体育振興会の活動に対し、ご支援ご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い2月以降の事業を全て自粛しておりました。4月16日発出された新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言も5月25日に宣言が解除されましたが、西京区体育振興会連合会で十分に協議し、8月末日まで事業の自粛を続け、9月より京都市体育振興会連合会の事業における予防ガイドラインに従い事業を再開致しました。

しかし、10月に予定しておりました区民体育祭は感染症予防ガイドラインを遵守し、開催することが非常に困難であり、中止することとなりました。

つきましては、大原野地域の事業を再開致したく、地域役員の皆様と協議を重ね、10月4日に男子ソフトボール大会を開催致しました。また、西京区体育振興会の事業も9月13日西京区女子ソフトボール大会より再開し、10月25日西京区女子バレーボール大会が行われ、大原野代表チームが準優勝に輝きました。

コロナ禍の中、出場頂きました選手の皆様、選手集めにご尽力頂きました役員の皆様にご心より感謝申し上げます。

今後も感染症に警戒を緩めることなく、皆様の健康と安全を考慮し慎重に事業を進めていく予定です。皆様の理解を頂きますようお願い致します。

結びになりますが、時節柄、御身ご自愛頂きますと共に新型コロナウイルス感染症の一刻も早い収束をご祈念申し上げ新年の挨拶と致します。

大原野体育振興会長 上田清和



令和2年度事業 今後の予定

- 令和3年
 - 1月17日(日) 西京区卓球大会 (桂川地域体育館)
 - 2月7日(日) 大原野区民卓球大会 (大原野小学校体育館)
 - 3月未定 洛西七地域大会 (福西小学校)
 - 3月21日(日) 里山ウォーキング (主催: 森林公園運営管理協会)
- 上記予定の事業は、新型コロナウイルス感染拡大の状況により中止の場合があります。

大原野地域の主な行事予定

(令和3年1月~6月)

- 1月~2月中 社協賛助会員募集運動 西京全域
- 3月5日(金) “なぬか会” (大原野社会福祉協議会)
- 3月15日(月) 大原野中学校 卒業式
- 3月21日(日) 里山ウォーキング (森林公園運営管理協会・体育振興会・少年補導委員会)
- 3月23日(火) 大原野・上里小学校 卒業式
- 4月上旬 “なぬか会” (大原野社会福祉協議会)
- 4月7日(水) 大原野中学校 入学式
- 4月8日(木) 大原野・上里小学校 入学式
- 4月17日(土) 自治会長会議 大原野総合自治会館 全国一斉 大原野総合自治会館
- 5月中 日赤社資増強運動
- 5月15日(土) 社会福祉協議会 評議員会 自主防災会総会・自治会長会議 (大原野社会福祉協議会) 右京の里地域以外の大原野地域
- 6月上旬 “なぬか会”
- 6月22日(火) 社協ふとんクリーニング

定例会議/事業

- 自治会長会議 毎月第3土曜日
 - 使用済み食用油回収事業 毎月第3土曜日
 - 大原野小学校 古紙回収 (PTA) 毎月第2土曜日
 - 上里小学校 古紙回収 (PTA) 毎月第3木曜日
 - 大原野中学校 古紙回収 (PTA) 毎月第4金曜日
- ◇子育て支援事業(対象者:これからママになる方、0~3才の乳幼児とその親)
- ママ・ちゃいるど大原野 会場は大原野中学校他4か所を順番に (10:00~11:30) 毎月第2木曜日

〈社会福祉協議会〉関係

- ◇健康すこやか学級 (対象者:65歳以上の方)
- やさしい筋トレ 大原野総合自治会館 毎月第1・3木曜日
- 〃 右京の里会館 毎月第2木曜日
- たのしい筋トレ 上里小学校コミュニティホール 毎月第4木曜日
- おしゃべり会 (年齢制限無し) 右京の里会館 毎月第3火曜日 (8月は休み)
- まろやかクラブ (囲碁・将棋) 中央老人クラブハウス 毎週水曜日

HOP!! STEP!! JUMP!!!

ホップ!! ステップ!! ジャンプ!!!



なんやかんや「大原野」

推進協議会

藤袴チーム

《フジバカマと紫式部》
大原野で育成しているフジバカマは1998年地元元方町の山間部で見つかったものです。京都府では絶滅寸前種に指定されている希少植物です。万葉集にある「秋の七種」の一つで日本書紀や源氏物語などでは「らん」「らん」など「蘭草」と呼ばれていました。

干した葉っぱにはよい香りがあり当時の殿方は、におい袋に詰め、懐にしのばせていたようです。紀貫之が詠んだ歌に

やどりせし
ひとのかたみか藤袴
わすれがたき
香ににおいつつ
と香りを詠んでいます。

「源氏物語」三十帖「藤袴」では光源氏の長男夕

かかしチーム

大原野の子どもたちに「大原野の農業をもっと身近に感じ、大原野にもっと愛着を持ってもらう」というスローガンのもと、子ども達と一緒に「かかし」を作り、大原野の田畑に立てる活動を平成26年度から行っています。

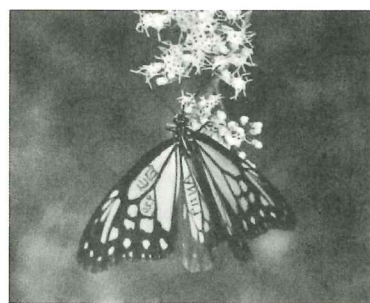
初年度には、大原野小学校と上里小学校からスタートし、翌年度からは、洛西ニュータウン地域内の小学校にもかかし作りを拡大、さらに、大原野地域内の幼稚園やこども園の3施設にもかかし作りをお願いしています。

子どもたちが作成した



今後、大原野の将来像「味わいたい・訪ねたい・住みたいまち」大原野に少しでも貢献出来る人材を育成したいのでは?を目標に頑張っています。

(小田 富久 記)



白山から飛来したアサギマダラ 2020/9/28 村島 光氏 提供

霧がひそかに心を寄せる玉鬘に御簾の下からそつと蘭の花を差し入れ探りを入れるという場面が登場します。

ちなみに作者の紫式部は大原野に思い入れが強かったようで、若いころ父と一緒に越前へ赴いた

時、降る雪に懐かしく思われたのは、大原野の小塩山に積る雪でした。

「源氏物語」二十九帖「御幸」では、時の帝冷泉帝が大原野に行幸される様子が描かれています。そこでも小塩山を詠んだ歌が出てきます。

昨秋は「ふじばかま祭り」を自粛しましたが、千五百人を超える見学者が来られました。今年こそはコロナも収束し、満開の花の下で祭りを催したいと思っています。

(藤井 肇 記)

ひまわりチーム

新年明けましておめでとうございます。

なんやかんや「大原野」農家版として8年前に、地域の若手農家で農業振興・地域活性化をしようとひまわりを咲かせることにしました。京都市や京都府の行政の方や地元JA女性部や加工食品友の会の方々、又桂高校の生徒、3年前から地元の洛西高校の生徒たちがひまわりをハート形に植えてたりして、花のアート作りで協力して下さっています。

前大原野自治連合会長の永谷文隆さんが10月に逝去されました。75歳で成26年から6年間務められました。ご冥福をお祈り致します。

新型コロナウイルスの影響で区民体育祭、フェスタ大原野などの行事が中止され「大原野だより」第72号の発行も危ぶまれました。しかし、寄稿に協力頂いて、無事に発行する事ができました。ご協力ありがとうございました。皆様方のご意見やご投稿をお待ちしております。

(卓)



編集余談

前大原野自治連合会長の永谷文隆さんが10月に逝去されました。75歳で成26年から6年間務められました。ご冥福をお祈り致します。

新型コロナウイルスの影響で区民体育祭、フェスタ大原野などの行事が中止され「大原野だより」第72号の発行も危ぶまれました。しかし、寄稿に協力頂いて、無事に発行する事ができました。ご協力ありがとうございました。皆様方のご意見やご投稿をお待ちしております。

(卓)